



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大野 龍隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 男澤 一郎

TEL 03-5805-7401

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	177,626	17.2	20,078	5.2	19,638	5.0	12,988	9.9
27年3月期第3四半期	151,546	19.2	19,081	27.1	18,707	24.1	11,816	26.5

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 10,908百万円 (△27.2%) 27年3月期第3四半期 14,992百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	47.37	45.87
27年3月期第3四半期	43.25	43.12

(注)平成27年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	187,148	140,325	74.6
27年3月期	184,784	132,883	71.5

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 139,519百万円 27年3月期 132,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	20.94	—	18.21	39.15
28年3月期	—	7.37	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.05	15.42

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・平成27年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成28年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割後の株式数で算定しております。平成27年3月期の1株当たり配当金につきましては、株式分割前の記載となっております。  
 なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した、平成27年3月期の1株当たり配当額は、第2四半期末6円98銭、期末6円7銭、合計13円5銭であります。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	242,000	16.0	27,100	14.1	27,100	16.0	16,900	18.2
								61.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・平成27年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割後の株式数で算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) SURUGA USA CORP.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	274,420,152 株	27年3月期	274,178,352 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	128,812 株	27年3月期	126,993 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	274,202,256 株	27年3月期3Q	273,218,013 株
----------	---------------	----------	---------------

(注)平成27年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融政策の正常化や中国を始めとするアジア新興国の景気減速の影響等により一部に弱さがみられるものの、個人消費の底堅い動き、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が継続しました。米国では個人消費や民間設備投資の増加もあり、景気の回復が続きました。欧州では失業率や物価の動向、地政学的リスク等の懸念材料はあるものの、景気は緩やかに回復しました。中国では景気は緩やかに減速しました。アセアン地域は一部に持ち直しの動きが見られるものの総じて景気減速が続きました。

このような環境において当社グループは、高品質(Quality)、低コスト(Cost)、确实短納期(Time)を実現するミスミQCTモデルの絶えざる進化に取り組んでいます。受注・生産・物流のプロセス革新を図ることで、受注製作(MTO)品の国内標準納期を3日(72時間)から2日(48時間)へ短縮するとともに、顧客に対して用途に応じた価格や商品のラインアップを拡充し、高い利便性を提供しました。さらに、事業の国際化に合わせたオペレーションレベルを向上させるため、海外各拠点への新基幹システムの導入やウェブカタログの刷新等のEC基盤の強化に取り組んでいます。また、FA(自動化)事業においては、グローバルでの确实短納期化の加速と日本・中国・ベトナム3極生産補完体制の整備に向けて推進していたベトナム第4工場が竣工し、10月より生産を開始しました。また、地域ごとにミスミQCTモデルを磨き込み、生産材プロセス革新をグローバルで確実に推進するため、中国、アジア、欧州、米州の各地域企業体を設立いたしました。

こうした結果、新たな自動化需要、金型需要を取り込んだFA事業と金型部品事業、および豊富な品揃えを武器に積極的な営業活動を展開したVONA事業の販売拡大が寄与し、連結売上高は1,776億2千6百万円(前年同期比17.2%増)となりました。利益面につきましては、積極的な事業拡大に向けた人材強化やEC基盤拡充などの費用増加等を売上増加等で吸収し、営業利益は200億7千8百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益は196億3千8百万円(前年同期比5.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は129億8千8百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

#### ・報告セグメントの業績

##### ①FA事業

FA事業においては、FA部品の确实短納期ニーズがグローバルに拡大する中、ミスミモデルを着実に浸透させ、自動車やエレクトロニクス関連業界などの新たな自動化需要を積極的に取り込んだことなどにより、主に日本と中国の販売拡大が寄与し、売上高は820億9百万円(前年同期比12.6%増)となりました。営業利益は147億6百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

##### ②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界への拡販活動などにより、主に中国や欧州の販売が伸長し、売上高は522億2千4百万円(前年同期比10.0%増)となりました。営業利益は海外事業拡大に向けた費用増により31億6千3百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

##### ③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品から、製造副資材やMRO(消耗品)等を販売するミスミグループの新たな中核事業です。取り扱いメーカー数の継続拡大により実現した生産間接材分野で最大の品揃えを武器に積極的な販売拡大を推進しました。また、「ものづくり」を支える生産材コマースサイトであるウェブカタログを刷新し、顧客の利便性向上を図ることでウェブサイトへの集客数を大幅に増加させました。こうした顧客ベースの拡大に取り組んだ結果、売上高は440億2千7百万円(前年同期比27.0%増)となりました。営業利益は成長戦略に伴う先行経費負担により25億5千3百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ23億6千3百万円増加し、1,871億4千8百万円となりました。この主な要因は現金及び預金が18億5千4百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が36億9千万円増加したこと、有価証券が16億4百万円減少したこと、商品及び製品が22億5千1百万円増加したことなどにより流動資産が27億9千6百万円増加したこと、有形固定資産が6億3千8百万円増加したこと、無形固定資産が11億1千9百万円減少したこと、及び投資有価証券等の投資その他の資産が4千8百万円増加したことです。

総負債は前連結会計年度末に比べ50億7千8百万円減少し、468億2千2百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億9千万円増加したこと、未払金が19億7千万円減少したこと、未払法人税等が19億2千6百万円減少したことなどにより流動負債が48億9千6百万円減少したこと、固定負債が1億8千1百万円減少したことです。

純資産は前連結会計年度末に比べ74億4千1百万円増加し、1,403億2千5百万円となりました。この主な要因は利益剰余金が93億3百万円増加したことなどにより株主資本が94億8千4百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が21億3百万円減少したことです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.5%から74.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ21億5千6百万円増加し、394億2千3百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、93億6千2百万円の純収入となりました。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が195億2千2百万円、減価償却費が45億7百万円、のれん償却額が14億1千8百万円、売上債権の増加額が39億3千9百万円、たな卸資産の増加額が21億9千1百万円、仕入債務の減少額が2億5千6百万円、未払金の減少額が13億4百万円、法人税等の支払額が90億7千万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億4千4百万円の純支出となりました。この主な内訳は、有価証券の売却及び償還による収入が16億円、固定資産の取得による支出が62億7千9百万円、定期預金の預入による支出が179億円、定期預金の払戻による収入が213億5千3百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、36億8千9百万円の純支出となりました。この主な内訳は、配当金の支払額が36億8千4百万円です。

なお、第54期第1四半期連結累計期間から四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しているため、前第3四半期連結累計期間との比較数値は記載しておりません。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間においてSURUGA USA CORP.は、連結子会社であるDayton Progress Machinery LLCに吸収合併されたことにより、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,604	49,750
受取手形及び売掛金	44,046	47,736
有価証券	1,604	—
商品及び製品	21,181	23,432
仕掛品	1,946	1,881
原材料及び貯蔵品	5,249	5,326
その他	6,408	6,796
貸倒引当金	△246	△332
流動資産合計	131,794	134,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,899	10,244
機械装置及び運搬具(純額)	10,972	10,729
土地	3,811	3,723
その他(純額)	2,256	3,880
有形固定資産合計	27,939	28,577
無形固定資産		
ソフトウェア	4,334	5,317
のれん	5,345	3,910
その他	10,923	10,254
無形固定資産合計	20,602	19,482
投資その他の資産		
投資有価証券	6	36
その他	4,552	4,611
貸倒引当金	△110	△151
投資その他の資産合計	4,447	4,496
固定資産合計	52,989	52,556
資産合計	184,784	187,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,878	13,368
未払金	6,578	4,607
未払法人税等	4,460	2,533
賞与引当金	1,437	1,998
役員賞与引当金	337	259
その他	5,013	3,040
流動負債合計	30,704	25,808
固定負債		
新株予約権付社債	12,017	12,061
退職給付に係る負債	3,538	3,865
その他	5,640	5,087
固定負債合計	21,195	21,013
負債合計	51,900	46,822
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,840	6,932
資本剰余金	17,229	17,321
利益剰余金	100,947	110,250
自己株式	△73	△76
株主資本合計	124,944	134,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	△0
為替換算調整勘定	7,230	5,125
退職給付に係る調整累計額	△43	△34
その他の包括利益累計額合計	7,194	5,090
新株予約権	228	269
非支配株主持分	516	536
純資産合計	132,883	140,325
負債純資産合計	184,784	187,148

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	151,546	177,626
売上原価	86,967	102,198
売上総利益	64,578	75,428
販売費及び一般管理費	45,497	55,349
営業利益	19,081	20,078
営業外収益		
受取利息	187	207
雑収入	142	162
営業外収益合計	330	369
営業外費用		
売上割引	45	50
為替差損	98	666
経営者育成振興寄付金	500	—
雑損失	59	92
営業外費用合計	704	809
経常利益	18,707	19,638
特別利益		
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	—	109
特別利益合計	—	109
特別損失		
事業再編損失	—	225
特別損失合計	—	225
税金等調整前四半期純利益	18,707	19,522
法人税等	6,876	6,499
四半期純利益	11,831	13,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,816	12,988

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	11,831	13,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△8
為替換算調整勘定	3,157	△2,115
退職給付に係る調整額	4	9
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	3,160	△2,115
四半期包括利益	14,992	10,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,971	10,885
非支配株主に係る四半期包括利益	20	22

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	19,522
減価償却費	4,507
のれん償却額	1,418
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	334
賞与引当金の増減額(△は減少)	555
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△77
貸倒引当金の増減額(△は減少)	152
受取利息及び受取配当金	△207
支払利息	1
株式交付費	0
株式報酬費用	68
為替差損益(△は益)	△163
持分法による投資損益(△は益)	△34
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	△109
事業再編損失	225
売上債権の増減額(△は増加)	△3,939
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,191
未収消費税等の増減額(△は増加)	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△256
未払金の増減額(△は減少)	△1,304
その他の資産の増減額(△は増加)	△381
その他の負債の増減額(△は減少)	△878
小計	17,263
利息及び配当金の受取額	391
利息の支払額	△1
法人税等の還付額	778
法人税等の支払額	△9,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び償還による収入	1,600
固定資産の取得による支出	△6,279
固定資産の売却による収入	488
定期預金の預入による支出	△17,900
定期預金の払戻による収入	21,353
貸付金の回収による収入	36
敷金及び保証金の差入による支出	△146
敷金及び保証金の回収による収入	168
その他	△2,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,744

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成27年4月1日  
至平成27年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△110
株式の発行による収入	154
自己株式の取得による支出	△3
自己株式の処分による収入	0
長期借入金の返済による支出	△45
配当金の支払額	△3,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	△770
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,156
現金及び現金同等物の期首残高	37,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	72,848	47,490	34,670	155,009	△3,463	151,546
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	72,848	47,490	34,670	155,009	△3,463	151,546
セグメント利益	13,599	3,417	2,884	19,901	△819	19,081
のれん等償却前セグメント利益※	13,599	5,052	2,884	21,536	△819	20,716

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

## 2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	155,009
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△3,454
その他の調整額	△9
四半期連結損益計算書の売上高	151,546

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,901
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△577
その他の調整額	△242
四半期連結損益計算書の営業利益	19,081

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,009	52,224	44,027	178,260	△634	177,626
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	82,009	52,224	44,027	178,260	△634	177,626
セグメント利益	14,706	3,163	2,553	20,423	△345	20,078
のれん等償却前セグメント利益※	14,706	5,064	2,553	22,324	△345	21,979

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

## 2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	178,260
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△1,157
その他の調整額	523
四半期連結損益計算書の売上高	177,626

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,423
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△458
その他の調整額	112
四半期連結損益計算書の営業利益	20,078

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1 地域に関する情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
81,843	22,068	19,422	17,481	7,977	2,753	151,546

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,207	7,801	4,585	2,469	1,600	26,663

## 2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,222
当第3四半期末残高	5,303

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1 地域に関する情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
93,751	28,844	21,792	20,806	8,924	3,507	177,626

(注) 売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,052	8,262	6,046	2,779	1,437	28,577

## 2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,418
当第3四半期末残高	3,910